

近畿同朋運動推進協議会 創立 70 周年記念大会趣意書

1954 年、近畿同朋運動推進協議会（近同推）の前身として、同朋教団の確立と同朋運動の確かな推進のために、それぞれの教区を越え近畿地方の多くの念仏者が団結し、同朋会近畿連絡協議会（近連）が発足しました。

この近連の結成は教団内で続発する部落差別の現実の中で、被差別者の苦しみの方がこれ以上踏みつけられることがないように、そして差別を利用し正当化してきた封建差別教団や戦争を賛美し多くの民衆を死地に駆り立てた戦争翼賛教団を再び蘇らせることのないように、という御同朋の切実な願いの結集でもありました。

御同朋御同行の血を吐くような願いを受けて作られた私たちの近同推は今年、設立から 70 周年を迎えました。

それは、多様な個性を持つ一人ひとりの人間として、その尊厳を阿弥陀如来のご本願によって願われた私たちにとって、人権の尊重と平和を護り続ける同朋運動を推進することが、親鸞聖人のみ教えをいただく念仏者としての本質であることを問い続けてきた道のりでもありました。

しかしながらこの 70 年間の道のりは、私たちの同朋運動そして近同推にとって平坦なものではありませんでした。だからこそこの同朋運動のための道を、私たち近同推では「親鸞さまと歩む道」と呼び、これをスローガンとしました。

その後、社会や教団を取り巻く人権や平和の状況によりこの道はさらに険しいものになりましたが、多くの問題に直面しながら迎えた創立 60 周年、歩んできた道のりは私たちにとって大きな自信となりました。そこから 10 年、私たちは「今こそ、同朋運動の真価を」というスローガンを掲げ、さらに人権の尊重・非戦平和の声を上げ続けてきました。

一方でこの 10 年で私たちは、コロナ禍という未曾有の困難にも直面しました。寺院活動や伝道活動が思うようにできない中、私たち近同推にとっても活動をいかに続けるか、いかにして同朋運動の

灯を掲げ続けるのかと迷いながらも、先人たちの願いと今を生きる御同朋の願いを絶やさずにこの「親鸞さまと歩む道」を進み続け、70年目を迎えられたことはまさに同朋運動の真価でした。

今こそ、私たちは同朋運動の先達たちの願いを繋ぎ、同朋教団としてさらなる未来を迎えるために、「伝えよう 同朋運動の願い」をテーマに、2025年2月3日、本願寺聞法会館において近畿同朋運動推進協議会「創立70周年記念大会」を開催いたします。

有縁の皆さまには、何卒、本大会の趣旨をご理解いただき、ご賛同・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月5日

近畿同朋運動推進協議会

会 長 竹 内 俊 之

副 会 長 小 倉 雅 昭

副 会 長 松 本 教 智